

2025

シラバス



第1学年

北海道遠別農業高等学校教務部

I N D E X

1	現代の国語	・ ・ ・	1
2	言語文化	・ ・ ・	8
3	地理総合	・ ・ ・	11
4	公共	・ ・ ・	15
5	数学Ⅰ	・ ・ ・	21
6	科学と人間生活	・ ・ ・	24
7	体育	・ ・ ・	28
8	保健	・ ・ ・	31
9	書道Ⅰ	・ ・ ・	34
10	英語コミュニケーションⅠ	・ ・ ・	37
11	家庭基礎	・ ・ ・	42
12	農業と環境	・ ・ ・	46
13	課題研究	・ ・ ・	49
14	総合実習	・ ・ ・	53
15	農業と情報	・ ・ ・	56

北海道遠別農業高等学校 年間指導計画

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
国語	現代の国語	1	必修	2	足立 大知

使用教科書	第一学習社 高等学校現代の国語	
使用副教材	意味で覚えて漢字を知る 漢トレ いいずな書店	
科目の目標	知識及び技能 思考力表現力 判断力等 学びに向かう力 人間性等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
学習の到達目標	知識及び技能 思考力表現力 判断力等 学びに向かう力 人間性等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
学習の留意点	気づいたこと、感心したこと等は、ノートなどに書き留める習慣を身につけること。	
評価規準	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	
	【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
	【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態度：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	「生きもの」として生きる (中村桂子) 評論のしるべ 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。	【知】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(3h)において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】0時間 【話聞】0時間 【書】 3時間 【書】 3時間 【読】 3時間 【読】 3時間
5	6	羅生門 (芥川龍之介) 文学のしるべ 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。	【知】比喩などの修辞について理解を深めている。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」(1h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 「書くこと」(3h)において自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(2h)において文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】1時間 【話聞】1時間 【書】 3時間 【書】 6時間 【読】 2時間 【読】 5時間
6	6	「本当の自分」幻想 (平野啓一郎)	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	【知】発問評価 指名音読

		評論のしるべ 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。	【思】「話すこと・聞くこと」(2h)において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。 「書くこと」(2h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(2h)において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】2時間 【話聞】3時間 【書】 2時間 【書】 8時間 【読】 2時間 【読】 7時間
7	4	話し方の工夫 待遇表現 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手目的場面に応じた言葉遣いを理解する。 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。	【知】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 【思】「話すこと・聞くこと」(2h)において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 「話すこと・聞くこと」(2h)において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。 【主】積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	【知】発問評価 活動観察 【思】発問評価 発表・報告 活動観察 【主】活動観察 累計 【話聞】4時間 【話聞】7時間 【書】 0時間 【書】 8時間 【読】 0時間 【読】 7時間
8	7	砂に埋もれたルコルビュジェ (原田ハマ) 文学のしるべ 父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる3人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。	【知】文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解している。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思】「話すこと・聞くこと」(2h)において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(2h)において文章に	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】活動観察

			含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。	累計 【話聞】2時間 【話聞】9時間 【書】 3時間 【書】 11時間 【読】 2時間 【読】 9時間
9	6	水の東西 (山崎正和) 評論のしるべ 東西の比較関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」(1h)において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。 「書くこと」(3h)において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」(2h)において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えを持ち、表現を工夫してまとめようとしている。 水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】1時間 【話聞】10時間 【書】 3時間 【書】 14時間 【読】 2時間 【読】 11時間
	5	論理的な表現 情報の探索と選択 論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 必要な情報を探す方法を理解する。	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 【思】「話すこと・聞くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 「書くこと」(2h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。 【主】進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話	【知】発問評価 活動観察 【思】発問評価 発表・報告 活動観察 【主】活動観察 累計 【話聞】3時間 【話聞】13時間 【書】 2時間 【書】 16時間 【読】 0時間 【読】 11時間

			し合ったりしようとしている。	
10	7	無彩の色 (港千尋) 評論のしるべ ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	【知】文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」(3h)において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。 「書くこと」(2h)において、目的や意図に応じて、適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」(2h)において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 本文に例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】3時間 【話聞】16時間 【書】 2時間 【書】 18時間 【読】 2時間 【読】 13時間
11	5	夢十夜 (夏目漱石) 文学のしるべ「夢」という非現実性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。	【知】文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」(1h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 「書くこと」(2h)において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 「読むこと」(2h)において文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】1時間 【話聞】17時間 【書】 2時間 【書】 20時間 【読】 2時間 【読】 15時間
12	8	現代の「世論操作」 (林香里) 評論のしるべ	【知】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特	【知】発問評価 指名音読 定期考査

1		評論のしるべ情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きるものとして問題意識を持つ。	色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「話すこと・聞くこと」(2h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 「書くこと」(3h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(3h)において文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主】粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】2時間 【話聞】19時間 【書】 3時間 【書】 23時間 【読】 3時間 【読】 18時間
2	6	ロビンソンの人間と自然 (村岡晋一) 評論のしるべ 「ロビンソンクルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を理解する。	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解している。 【思】「書くこと」(4h)において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」(2h)において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主】例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【話聞】0時間 【話聞】19時間 【書】 4時間 【書】 27時間 【読】 2時間 【読】 20時間
3	4	書き方の基本レッスン 地域の魅力を紹介する 表記表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法を理解する。比喩などの表現技法を理解する。 情報を的確に紹介する方法を理解する。 必要な情報や資料を収集整理し、わかりやすい紹介文を書く	【知】書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 【思】「話すこと・聞くこと」(1h)において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 「書くこと」(3h)において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	【知】発問評価 活動観察 【思】発問評価 発表・報告 活動観察 【主】活動観察

		くために活用する方法を理解する。	【主】進んで表記表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成展開や表現を工夫しようとしている。	累計 【話聞】1時間 【話聞】20時間 【書】 3時間 【書】 30時間 【読】 0時間 【読】 20時間
--	--	------------------	--	---

北海道遠別農業高等学校 年間指導計画

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
国語	言語文化	I	必修	2	足立 大知

使用教科書	第一学習社 高等学校言語文化	
使用副教材	意味で覚えて漢字を知る 漢トレ いいずな書店	
科目の目標	知識及び技能 思考力表現力 判断力等 学びに向かう力 人間性等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
学習の到達目標	知識及び技能 思考力表現力 判断力等 学びに向かう力 人間性等	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
学習の留意点	気づいたこと、感心したこと等は、ノートなどに書き留める習慣を身につけること。	
評価規準	【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	
	【思考・判断・表現】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
	【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態度：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	6	古文の学習 児のそら寝 古文を読むために 我が国の言語文化について理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思】「読むこと」（6h）において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主】これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚を持とうとしている。 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 0時間 【読】 6時間 【読】 6時間 【読近】 0時間 【読近】 0時間
5 6	6	漢文の学習 訓読に親しむ（1） 漢文を読むために1 訓読に親しむ（2） 漢文を読むために2 訓読に親しむ（3） 漢文を読むために3 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。漢文を訓読するための基礎知識として、助字の働きと意味を習得する。漢文を習得するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。	【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思】「読むこと」（3h）において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 「読むこと」（3h）において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味関心を深めている。これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 0時間 【読】 6時間 【読】 12時間 【読近】 0時間 【読近】 0時間
		伊勢物語	【知】古典の世界に親しむために、古	【知】発問評価

6 7	7	（芥川） 古文を読むために3 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 歌物語では、感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。	典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などに理解を深めている。 【思】「書くこと」（1h）において、自分の思いが効果的に伝わるよう構成、展開、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 「読むこと」（6h）において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈深めている。 【主】歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 学習課題に沿って異なるテキストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	指名音読 定期考査 【思】発問評価 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 1時間 【書】 1時間 【読】 6時間 【読】 18時間 【読近】 0時間 【読近】 0時間
7 8	5	戦国策 （漁父之利） 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」（5h）において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	【知】発問評価 指名音読 活動観察 定期考査 【思】発問評価 指名音読 活動観察 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 1時間 【読】 5時間 【読】 23時間 【読近】 0時間 【読近】 0時間
8 9	7	徒然草 （ある人弓射ることを習ふに） 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思】「書くこと」（2h）において、適切な題材を決め、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう表現の仕方を工夫している。 「読むこと」（5h）において、作品	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 定期考査 【主】活動観察

			に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】随筆の内容構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	累計 【書】 2時間 【書】 3時間 【読】 5時間 【読】 28時間 【読近】 0時間 【読近】 0時間
9 10	8	一つのメルヘン（中原中也） 自分の感性くらい （茨木のり子） 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の心情を捉える。 「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	【知】我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】「読むこと」（4h近）において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」（4h近）において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】積極的に史伝を読み、蘭相如の考え方や人物像を説明しようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 3時間 【読】 0時間 【読】 28時間 【読近】 8時間 【読近】 8時間
11	8	祭りの笛 （三浦哲郎） 我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。	【知】我が国の言語文化の特質について理解している。 【思】「書くこと」（3h）において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 「読むこと」（5h近）において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】「言語活動」への見通しをもって随筆を読み、我が国の伝統行事についてものの見方を深めようとしている。	【知】発問評価 活動観察 【思】発問評価 活動観察 【主】活動観察 累計 【書】 3時間 【書】 6時間 【読】 0時間 【読】 28時間 【読近】 5時間 【読近】 13時間
11 12	9	平家物語 （祇園精舎） 古典のしるべ 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。	【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」（9h）において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主】作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを上げたり、深めたりしようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 6時間 【読】 9時間 【読】 37時間 【読近】 0時間 【読近】 13時間

1 2	7	古典の和歌を現代の言葉で書き換える（俵万智） 我が国の言語文化に特徴的な和歌の技法とその効果について理解する。	【知】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思】「書くこと」（2h）において、自分の思いが効果的に伝わるよう構成、展開、文体描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 「読むこと」（5h近）において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 2時間 【書】 8時間 【読】 0時間 【読】 37時間 【読近】 5時間 【読近】 18時間
2 3	7	奥の細道 （旅立ち） 古典のしるべ 作品に表れている芭蕉の人生観や旅の意味といった、ものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。	【知】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などに理解を深めている。 【思】「読むこと」（7h）において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主】芭蕉の人生観の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って粘り強く取り組みようとしている。	【知】発問評価 指名音読 定期考査 【思】発問評価 指名音読 定期考査 【主】活動観察 累計 【書】 0時間 【書】 8時間 【読】 7時間 【読】 44時間 【読近】 0時間 【読近】 18時間

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
地理歴史	地理総合	1	必修	2	柴田 大輝

使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）
使用副教材	標準高等地図（帝国書院）
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめられる。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深められる。
学 習 の 到達目標	(1) 緯度の違いが、世界地域の気候に影響を与えていることを理解することができる。 (2) 経度の違いが、時差に影響を与えていることを理解し、時差を計算することができる。 (3) 世界諸地域の気候・農業・鉱工業・経済などの特徴を理解し、諸資料から読み取ることができる。 (4) 地球規模で直面している問題について、諸資料から読み取り、考察することができる。 (5) 日本の地形・気候を諸資料から読み取り、理解することができる。 (6) 日本の自然環境から関係する災害について理解し、自然災害の対処方法を理解し、日常生活に活かそうとすることができる。
学 習 の 留意点	(1) 教科書、ノート等は毎回必ず準備すること。 (2) ノートは、地理総合専用で一冊準備すること。 (3) 忘れ物をした際は、授業が始まるまでに報告すること。 (4) 積極的に発言すること。 (5) ニュース、新聞に興味を持ち、わからない地名を地図やGIS等で調べること。
評価規準	【知識・技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 【思考力・判断力・表現力】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 ・ 5	12	オリエンテーション（大陸名，州名，海洋名） 第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1 節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活・時差の計算 2 節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 地図の利用－地図記号－ 地図の利用－縮尺と等高線－ 3 統計地図の種類と利用 4 地理情報システム（GIS）の利用 第2章 結びつきを深める現代世界 1 節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2 節 グローバル化する世界 1 国家間の結びつき 2 貿易によって結びつく世界 3 さまざまな交通網・通信網の発達 4 観光のグローバル化	【知】現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 【思】地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【思】現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	【知】活動の観察 定期考査 【思】記述の確認 定期考査 【態】ワークシート 活動の観察
6 ・ 7	13	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1 節 世界の地形と人々の生活 1 大地形・変動帯・安定地域と人々の生活 2 河川・海岸がつくる地形と人々の生活 3 氷河地形・乾燥地系・カルスト地形と人々の生活 2 節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水・大気循環と人々の生活 2 世界の植生と生活区分 雨温図の読み取り方 3 熱帯の生活 4 乾燥帯の生活 5 温帯の生活 6 亜寒帯・寒帯の生活	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について，その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【知】活動の観察 定期考査 【思】記述の確認 定期考査 【態】ワークシート 活動の観察

		自然１－オセアニア １ 人々をひきつける多様な自然環境 ２ 自然環境を生かした産業と人々の生活 自然２－東南アジア 前期中間考査 考査の振り返り		
8 ・ 9	9	単元テスト 3 節 世界の言語・宗教と人々の生活 １ 世界の言語・宗教と人々の生活の変化 宗教１－中央アジア・西アジア・北アフリカー １ イスラームを中心とした生活文化 ２ 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化 変化するムスリムの生活（教p.92～95） 宗教２－インドー（教p.96～101） 4 節 歴史的背景と人々の生活 歴史１－ラテンアメリカー １ ヨーロッパ社会の影響が強い文化 ２ 大土地所有制が生み出した社会構造 外国資本による工業化と生活の変化 前期末考査 考査の振り返り	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【知】活動の観察 定期考査 【思】記述の確認 定期考査 【態】ワークシート 活動の観察
10 ・ 11	12	歴史２－サハラ以南アメリカー １ 生活文化に残る旧宗主国の影響 ２ 植民地支配の影響が残るアフリカの産業 5 節 世界の産業と人々の生活 １ 人々の生活を支える農業の発展 ２ 人々の生活を支える工業の発展 ３ グローバル化する現代の産業 産業１－アメリカー １ 世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源 ２ 世界の食卓に影響を与える農業 産業２－東アジアー １ 東アジアの経済成長とその歩み ２ 経済成長による中国の生活の変化 産業３－ヨーロッパー １ EU統合と人々の生活 ２ EU統合による農業への影響 ３ EU統合による工業や社会への影響		

12 ・ I	13	後期中間考査 考査の振り返り 第2章 地球的課題と国際協力 1 節 複雑に絡み合う地球的課題 2 節 地球環境問題 3 節 資源・エネルギー問題 4 節 人口問題 5 節 食料問題 6 節 都市・住居問題 第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1 節 日本の自然環境 1 日本の都道府県 2 日本の地形 3 日本の気候 2 節 地震・津波と防災 3 節 火山災害と防災	【知】世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び住居・都市問題を基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思】地球的課題について，地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【知】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。	【知】活動の観察 定期考査 【思】記述の確認 定期考査 【態】ワークシート 活動の観察 【知】活動の観察 定期考査
2 ・ 3	II	4 節 気象災害と防災 5 節 自然災害への備え 後期末考査 考査の振り返り 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1 節 生活圏の調査と地域の展望 1 地理的な課題と地域調査 2 現地調査の準備 3 調査の実施 1 年間の振り返り	【思】地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】生活圏の調査と地域の展望について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	【思】記述の確認 定期考査 【態】ワークシート 活動の観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
公民	公共	1	必修	2	清水野 天斗

使用教科書	高等学校 公共（教育図書）
使用副教材	
科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を探究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したこと議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
学 習 の 到達目標	(1) 自らの体験などを振り返ることで、これから自らを成長させる人間としての在り方生き方について、理解することができる。 (2) 思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりについて、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することができる。 (3) 国会と内閣の関係、司法参加の仕組みと意義を理解することができる。 (4) 現実社会の諸課題に関わる資料から、必要な情報を収集し、まとめることができる。
学 習 の 留意点	(1) 教科書、ノート（ファイル）は、毎回準備すること。 (2) ノート（ファイル）は、公共専用で準備すること。 (3) 日頃からニュース、新聞をみる習慣をつけること。 (4) 他者の意見や価値観を聞き、受け止めること。
評価規準	【知識・技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念を理解し、諸資料から必要となる情報と適切に選択しまとめられている。 【思考・判断・表現】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国会及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 ・ 5	10	オリエンテーション 第1章 公共の扉 1 公共と人 1 人は一人では生きられない 2 人はどのようにつながるのか 3 自由と正義の実現を目指して 4 対話から生まれる公共 5 日本の公共思想	【知】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について、理解している。 【思】 地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者と協働して国家・社会をなどの公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	【知】 定期考査 【思】 ワークシート グループワーク
		2 公共と倫理 1 功利主義と義務論 2 水俣病を考える 3 地球温暖化問題 4 誰が医療を支えるのか	【思】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と行為の動機となる公正ななどの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験などの概念的な枠組みを用いて、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察している。 【態】 公共的な空間における人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【思】 ワークシート グループワーク 【態】 ワークシート 対話内容
6 ・ 7	12	前期中間考査 考査の振り返り 3 公共の基本原則 1 生徒会予算をどう分配するか 2 意見が分かれたときにどう決めるか 3 民主主義の歴史 4 日本国憲法の三つの原則 基本的人権の尊重、平等・自由・義務 5 大学入試と男女差別 なぜ女性医師が日本では少ないのか	【知】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について、理解している。 【思】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりについて多面的・多角的に考察し表現している。 【態】 公共の基本原則について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【知】 定期考査 【思】 ワークシート 思考実験 【態】 ワークシート グループワーク

8 ・ 9	10	単元テスト 第2章 現代社会の諸課題 1 法 1 法と社会 テーマ学習－忘れられる権利は認められるべきか？－ 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 テーマ学習－なぜ未成年は自由に契約できないのか？－ 4 日本の司法制度 5 国民の司法参加 テーマ学習－刑事裁判と民事裁判の違いは何だろうか？－ テーマ学習－なぜ疑わしいときは被告人の利益とすべきか？－ 前期期末考查 考查の振り返り	【知】憲法や法，規範に基づいて，各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停・解決することを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていることを理解している。 【思】現実社会の課題の解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参加を視野に入れ，その課題解決に向けて事実を基に考察し，表現している。 【態】法の基本原理について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【知】ワークシート 定期考查 【思】ワークシート 定期考查 【態】ワークシート 対話内容
10 ・ 11	16	2 政治 1 選挙と政治参加 公正な世論の形成 テーマ学習－日本の若者の投票率はなぜ低いのか？－ 2 国会と内閣 地方自治 テーマ学習⑥－「国民投票」は本当にベストな方法か？－ 3 国家主権と領土問題 4 安全保障と防衛 21席の世界情勢 5 国際社会と日本	【知】政治参加や公正な世論の形成など，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意形成がされることについて，理解している。 【思】現実社会の課題の解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れ，その課題解決に向けて事実を基に考察し，表現している。 【態】政治の基本原理について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【知】ワークシート 定期考查 【思】ワークシート 定期考查 【態】ワークシート 対話内容

12 ～ 2	16	後期中間考査 考査の振り返り 3 経済 1 職業選択 テーマ学習－AIの進化は仕事をどう 変えるか？－ テーマ学習－都会で働くか？ 地方で働くか？－ 2 雇用と役割 労働者の権利 テーマ学習－メンバーシップ型か？ ジョブ型か？－ 3 財政の役割 租税の仕組みと国債 4 少子化と社会保障 テーマ学習－小学校中学校に給食は 必要か？－ 5 市場経済の役割と限界 テーマ学習－コンサートチケットの 不正転売は防げるか？－ 6 金融の働き 日本銀行と金融政策 7 グローバル化と経済統合 格差是正と多文化主義 テーマ学習－私たちにできる最善は 何か？－ 後期末考査 考査の振り返り	【知】統計、白書、新聞などの諸資料から自立を主体とした活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思】現実社会の課題の解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れ、その課題解決に向けて事実を基に考察し、表現している。 【態】政治の基本原則について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【知】ワークシート 定期考査 【思】ワークシート 定期考査 【態】ワークシート 対話内容
3	6	第3章 持続可能な社会へ 1 社会研究の方法 課題を見つける 大きな視点で考える（先行研究） 調査の方法や種類 レポートにまとめる	【思】現代の諸課題を探究する活動を通して、その課題解決に向けて事実を基に考察、構想し妥当性や効果などを指標にし、自分の考えを説明、論述している。 【態】現代の諸課題を探究する活動について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	【思】ワークシート グループワーク 【態】ワークシート 活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
数学	数学Ⅰ	1	必修	2	今井進裕

使用教科書	最新 数学Ⅰ（数研出版）
使用副教材	パラレルノート 数学Ⅰ（数研出版）
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （２）命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 （３）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
学 習 の 到 達 目 標	１ 基礎的な知識・技能の習得ができる。 ２ 数や式を目的に応じて適切に変形することができる。 ３ データを適切な手法で分析を行い、過程や結果を考察・判断することができる。 ４ 問題解決に向かって、様々な活動に粘り強く取り組むことができる。
学 習 の 留 意 点	授業で問題を解いた後に、副教材を用いて復習を行うこと。 教科書を見返して復習を行うこと。
評 価 規 準	【知識・技能】 （１）数と式及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 （２）事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 （１）命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 （２）社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 （１）数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 （２）粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 （３）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5 6	19	☆第1章 数と式 ○第1節 数と式 ・多項式(6) ・展開(4) ・因数分解(6) ・課題学習(3)	【知】二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 【思】問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態】問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録
7 8	9	☆第1章 数と式 ○第2節 実数 ・実数(3) ・根号を含む式の計算(5) ・課題学習(1)	【知】数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 【思】問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態】数を実数まで拡張する意義を理解しようとしている。 【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録
9	10	☆第1章 数と式 ○第3節 1次不等式 ・不等式(2) ・不等式の性質(1) ・1次不等式(3) ・連立不等式(1) ・不等式の利用(1) ・課題学習(2)	【知】不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思】不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 【思】日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用することができる。 【態】日常の事象や社会の事象に1次不等式を活用しようとしている。 【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録
10 11 12	11	☆第2章 集合と命題 ・集合と部分集合(2) ・共通部分、和集合、補集合(3) ・命題と集合(6)	【知】集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思】集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【態】粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録
1 2 3	21	☆第5章 データの分析 ・データの整理(1) ・データの代表値(2)	【知】分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト

	・データの散らばり (6) ・データの相関 (2) ・相関係数 (4) ・仮説検定の考え方 (2) ・課題学習 (4)	【知】コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データや表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 【知】具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができる。 【思】データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 【思】目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 【思】不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【態】日常の事象や社会の事象の特徴をデータの分析を通して表現しようとしている。 【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。	レポート 【態】レポート 振り返りの記録
--	---	---	---

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
理科	科学と人間生活	1	必修	2	高田 駿

使用教科書	科学と人間生活（数研出版）
使用副教材	なし
科目の目標	自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学 習 の 到達目標	1. 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などを実施することができる。 2. 観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究することができる。 3. 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究することができる。
学 習 の 留意点	1. 授業プリント・ワークシート等を忘れずに記入する。 2. 観察・実験の時間では特にしっかり話を聞き、勝手に行動をとらない。 3. 忘れ物等の報告は授業前に行う。
評価規準 及 び 評価配分	【知識・技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察，実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	オリエンテーション 1章 科学と技術の発展 1節 科学と技術の始まり 2節 海一とくに深海を科学の眼で見よう ー 3節 土ー農業を通して考えるー	【知】科学技術の起源から現在に至るまでの発展過程を知り、今日の人間生活にどのように貢献してきたか理解している。 【思】科学技術の起源から現在に至るまでの発展過程を知り、人間生活との関わりについて科学的に考察し、表現している。 【態】科学技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【知】活動の観察 考查 【思】ワークシート及び実験レポートの内容 分析 考查 【態】活動の観察 ワークシート及び実験レポートの内容 分析
5 ～ 7	18	2章 物質の化学 1節 材料とその再利用 2節 食品と衣料	【知】身近な材料や衣料品、食品についての概念や原理・法則などを関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思】身近な材料や衣料品、食品についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に探究し、表現している。 【態】身近な材料や衣料品、食品についての主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【知】活動の観察 考查 【思】ワークシート及び実験レポートの内容 分析 考查 【態】活動の観察 ワークシート及び実験レポートの内容 分析
8 ～ 10	16	3章 生命の科学 1節 ヒトの生命現象 2節 微生物とその利用	【知】ヒトの生命現象や微生物に関する、概念や原理・法則などを関連付けて理解しているとともに、	【知】活動の観察 考查 【思】ワークシート及び

			科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思】ヒトの生命現象や微生物に関する問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に探究し、表現している。 【態】ヒトの生命現象や微生物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	実験レポートの内容 分析 考査 【態】活動の観察 ワークシート及び 実験レポートの内容 分析
10 ～ 12	15	4章 光や熱の科学 1節 熱の性質とその利用 2節 光の性質とその利用	【知】“光を中心とした電磁波の性質とその利用”、“熱の性質、エネルギーの変換と利用及び有効利用”について概念や原理・法則などを関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思】“光を中心とした電磁波の性質とその利用”、“熱の性質、エネルギーの変換と利用及び有効利用”について問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に探究し、表現している。 【態】“光を中心とした電磁波の性質とその利用”、“熱の性質、エネルギーの変換と利用及び有効利用”について主体的に関わ	【知】活動の観察 考査 【思】ワークシート及び 実験レポートの内容 分析 考査 【態】活動の観察 ワークシート及び 実験レポートの内容 分析

			り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
1 ～ 2	12	5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球 2節 身近な自然景観と自然災害	【知】天体や自然景観と自然災害に関する概念や原理・法則などを関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思】天体や自然景観と自然災害に関する問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に探究し、表現している。 【態】天体や自然景観と自然災害に関する主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【知】活動の観察 考査 【思】ワークシート及び実験レポートの内容 分析 考査 【態】活動の観察 ワークシート及び実験レポートの内容 分析
3	4	6章 これからの科学と人間生活	【知】これからの科学と人間生活との関わり方について、概念や原理・法則などを、これまでに理解した内容から導き出している。 【思】これからの科学と人間生活との関わり方について、問題を見いだしている。 【態】これからの科学と人間生活との関わり方について、主体的に活動し、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	【知】活動の観察 考査 【思】ワークシート及び実験レポートの内容 分析 考査 【態】活動の観察 ワークシート及び実験レポートの内容 分析

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	体育	1	必修	2	伊 藤 航

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	ステップアップ高校スポーツ
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養っている。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。
評価規準 及 評価配分	【知識及び技能】 1 体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と運動の実践を通して、多様な楽しみ方を共有している。 2 各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうとともに、各領域に応じた技能や攻防ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする意欲を持っており、健康・安全を確保している。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	6	体づくり運動	○	○	○	【知】仲間と自主的に関わっている。体力の向上を図るための運動の計画を立てている。 【思】課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】ルールを守り、互いに助け合い教え合っている。	活動観察
5	4	体育理論 体づくり運動	○			【知】現代スポーツの発展について理解している。 【知】仲間と自主的に関わっている。体力の向上を図るための運動の計画を立てている。	活動観察
5 ・ 6	8	器械運動（マット運動）	○	○		【思】自己や相手の課題について分析し、他者に伝えている。 【知】自己に適した技で演技している。	活動観察 スキルテスト
7 ・ 8	8	サッカー	○	○	○	【知】ボール操作と連携した攻守を展開している。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。。	活動観察 ワークシート
9	6	陸上競技	○	○	○	【知】各種目特有の技能を身に付けている。 【思】記録を伸ばすために、自己分析し、改善につなげている。 【態】自己の課題解決に向けて自主的に取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト
10	8	バスケットボール	○	○	○	【知】ボール操作と連携した攻守を展開している。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。。	活動観察
11 ・ 12	10	体育理論 バレーボール	○	○	○	【思】文化としてのスポーツの意義について考えを伝えている。 【知】安定したボール操作をしている。 【思】共有場面において、自他の課題を発見し、コミュニケーションを図っている。 【態】フェアプレイを大切にしている。	ワークシート 活動観察 スキルテスト
1 ・ 2	12	スキー	○		○	【知】深めたい技能を選択し、取り組んでいる。 【態】技能の向上を目指し取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト

3	8	体育理論 空手道	○	○	【態】文化としてのスポーツの意義について、主体的に考えを深めようとしている。 【知】空手道に関わる技能を身に付けようとしている。 【態】武道の礼法・作法などの伝統的行動を大切にしている。	ワークシート 活動観察 スキルテスト
---	---	------------------------	---	---	--	---

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	保健	I	必修	I	伊 藤 航

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	現代高等保健体育ノート
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。
学 習 の 到 達 目 標	(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 (2) 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
学 習 の 留 意 点	(1) 課題解決に向けて実生活と結びつけて考察する。 (2) 理解したことを表現する。
評 価 規 準 及 び 評 価 配 分	【知識・技能】 現代社会と健康について理解を深め、その内容に関わる技能を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進の視点を持ち、現在及び将来の生活を健康で明るく豊かなものにすることを目指して、取り組んでいる。

年間学習計画

評価の観点（A：知識・技能 B：思考力・判断力・表現力 C：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			A	B	C		
4	2	1. 健康の考えと成り立ち 2. 私たちの健康のすがた	○	○	○	A 我が国の健康課題について、理解している。 B 健康の考え方について、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見している。 C 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
5	3	3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復	○	○	○	A 生活習慣病やがんなどの予防と回復について、どのような対策が必要か理解している。 B 生活習慣病やがんなどの予防と回復について、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見している。 C 生活習慣病やがんなどの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
6	3	6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康	○	○	○	A 健康からみた運動の意義を学び、積極的に運動に関わろうとしている。 B 健康に望ましい食生活の在り方を考え、理解したことを発言したり、記述している。 C 自身の生活習慣の課題を考え、休養や睡眠への改善策を考えている。	観察 ワークシート
7	3	9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康	○	○	○	A 薬物乱用防止のためには、個人への対策と社会環境への対策が必要なことについて理解している。 B 喫煙の対策として、社会環境の整備が進んでいる要因や課題を見つけ説明している。 C 正しくアルコールと付き合う方法について主体的に考えている。	観察 ワークシート
8	3	12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防	○	○	○	A 精神疾患について、正しく理解するとともに、発病の要因や主な症状について説明できる。 B 精神疾患の予防と回復について、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見している。	観察 ワークシート

		14. 精神疾患からの回復				C 精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
9	6	15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防	○	○	○	A 感染症や性感染症・エイズについて、理解している。 B 性情報の正しい知識を得るための方策について考えている。 C 感染症予防の原則を踏まえ、実生活での生かし方を主体的に考えている。	観察 ワークシート考査
10	2	18. 健康に関する意思決定と行動選択 19. 健康に関する環境づくり	○	○	○	A 健康を保持増進するための意志決定・行動選択について、理解している。 B 健康の考え方について、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見している。 C 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
11	3	20. 交通事故の現状と発生要因 21. 安全な社会の形成 22. 交通における安全	○	○	○	A 交通事故の要因について理解している。 B 安全な社会について、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見している。 C 安全な社会について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
12	10	23. 応急手当の意義とその基本 24. 日常的な応急手当 25. 心肺蘇生法	○	○	○	A 心肺蘇生法の手順を理解している。 B 応急手当の意義を学び、その必要性について考えたことを表現している。 C 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 観察 ワークシート 観察 ワークシート考査 観察 ワークシート
	1						
	2						
	3						

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
芸術	書道 I	I	必修	2	足立 大知

使用教科書	書道 I（東京書籍）
使用副教材	硬筆書写技能検定4級 合格のポイント令和7年度版
科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
学 習 の 到達目標	(1) 硬筆書写技能検定に向けて、バランスのとれた文字を書くことができる。 (2) 自分の書について、様々な観点から工夫して表現することができる。 (3) 実生活や実社会において、文字や書が果たす役割を理解することができる。 (4) 創作活動を通して、日本の伝統や文化について理解することができる。
学 習 の 留意点	(1) 墨や筆などの道具を、正しく扱ったり手入れを行ったりすること。 (2) 硬筆書写技能検定を意識して、丁寧に文字を書くこと。 (3) 何度も工夫や試行錯誤を繰り返して、作品を完成させること。 (4) 創作活動するにあたって、自分の考えや創作の意図を持つこと。
評価規準	【知識・技能】 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するために必要な技能を身につけている。
	【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じて、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	オリエンテーション 硬筆書写の基本	表現 【知】書写能力を向上させるために、姿勢や執筆法（持ち方）などの基本的事項を身につけている。 【態】表現技法の基礎・基本を身につけ、書写能力の向上に努めている。	表現 【知】ワークシート 活動観察 【態】活動観察
5 ～ 8	25	毛筆の基本（楷書を用筆法・結構法） 基本点画Ⅰ（横画・縦画・点） 基本点画Ⅱ（転折・はらい） 基本点画Ⅲ（そり・曲がり） 基本点画Ⅳ（永字八法） 漢字の書（楷書） 臨書「九成宮醴泉銘（清泉）」 臨書「孔子廟堂碑（大道）」 臨書「雁塔聖教序（無形）」 臨書「自書告身（制度）」 臨書「九成宮醴泉銘（海内終以）」 臨書「九成宮醴泉銘（文徳懷遠）」 鑑賞「書風の比較」（教p.110） 漢字の書（行書） 臨書「蘭亭序（永和）」 臨書「争坐位文稿（開国）」 臨書「風信帖（風信雲書）」 漢字の書（草書） 臨書「真草千字文（仁慈）」	表現 【知】古典に基づく書体や書風と用筆・運筆を理解している。 【知】古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている。 【態】主体的に漢字の書の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞 【知】用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果の関わりについて理解している。	表現 【知】振り返りシート 【知】作品 【態】振り返りシート 活動観察 鑑賞 【知】鑑賞ワークシート
9 ～ 11	12	硬筆書写技能検定に向けて 第1問（早書き）の練習 第2問（漢字かな交じりの言葉）の練習 第3問（縦書き）の練習 第4問（横書き）の練習 第5問（揭示課題）の練習 硬筆書写技能検定の過去問演習 第2回硬筆書写技能検定（11月8日）	表現 【知】用具の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具を選択している。 【態】表現技法の基礎・基本を身につけ、書写能力の向上に努めている。	表現 【知】ワークシート 活動観察 【態】活動観察

11	4	仮名の書 仮名の成立 臨書「仮名の単体」 鑑賞「仮名の書の全体構成」 鑑賞「書の美や風趣を味わおう」	鑑賞 【知】日本及び中国などの文字の伝統と文化について理解している。	鑑賞 【知】鑑賞ワークシート
12	8	漢字仮名交じりの書 鑑賞「表現を比べよう」 線による表現の広がり 用具・用材による表現と紙面構成 手紙 ・手紙のマナーを学ぼう ・封筒をマナーに沿って書こう 年賀状の創作 ・年賀状のマナーを学ぼう ・年賀状のデザインを考えよう ・年賀状を書で表現しよう ・鑑賞「年賀状」	表現 【知】目的や意図に即した効果的な表現の技能を身につけている。 【思】目的や意図に基づき、字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 【態】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 鑑賞 【知】書の鑑賞の方法や形態について、理解している。	表現 【知】構想シート 作品 【思】構想シート 作品 【態】振り返りシート 活動観察 鑑賞 【知】鑑賞ワークシート
1 ・ 2	10	今年の目標 ・今年の目標と構成を考えよう ・今年の目標を書で表現しよう ・鑑賞「今年の目標を比べよう」 寒中見舞いの創作 ・寒中見舞いのマナーを学ぼう ・寒中見舞いのデザインを考えよう ・寒中見舞いを書で表現しよう 好きな歌詞を書で表現 ・構成を考えよう ・鑑賞「構成段階のデザイン」、再構成 ・書で表現しよう① ・鑑賞①「好きな歌詞の表現」 ・書で表現しよう② ・鑑賞②「好きな歌詞の表現」	【思】生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わってとらえている。 【態】主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	【思】鑑賞ワークシート 【態】振り返りシート 活動観察
3	5	履歴書 ・自己分析（長所、短所、資格、趣味 等） ・会社のパンフレットや求人票の分析 ・履歴書を書こう 今年度の漢字 ・漢字決めと表現の仕方を考える ・書で表現 ・鑑賞「今年度の漢字」		

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ	Ⅰ	必修	2	川本 璃音

使用教科書	COMET English Communication I (数研出版)
使用副教材	COMET基本文法定着ドリルⅠ コーパス1800 アクシスジーニアス英和辞典
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第Ⅰ款の(Ⅰ)及び(Ⅱ)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第Ⅰ款の(Ⅲ)に示す資質・能力を育成する。 (Ⅰ) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (Ⅱ) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (Ⅲ) 話すこと〔やり取り〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (Ⅳ) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について強いようする語句や文事前の準備などにおいて多くの支援を活用すれば基本的な語句や文を用いて情報や考え気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (Ⅴ) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、読んだり聞いたりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
学習の到達目標	(Ⅰ) 外国語の音声や基本的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。

	(2) 日常的な話題や社会的な話題のコミュニケーションにおいて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
学 習 の 留 意 点	(1) 英語コミュニケーションⅠ専用のファイルまたはノートを用意し、毎時間持参すること。 (2) 授業中は英語を使ってコミュニケーションをとること。 (3) A L T との授業では積極的に A L T とコミュニケーションをとること。 (4) 分からないところは授業中もしくは授業終わりに質問するなどして理解を深めること。
評 価 規 準	【知識・技能】 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容 ◎＝主領域 （○＝副領域）	評価規準 ◎＝主領域 （○＝副領域）	評価方法
4 5	7	Get Ready! ①～④ 〔題材内容〕 ・好きなことについて質問したり答えたりする。 〔領域〕 ◎話すこと〔やり取り〕のA 〔文法〕 ・be動詞、一般動詞 ・否定文、疑問文	◎話すこと〔やり取り〕 【知】好きなことを話して伝え合うために必要となる表現を理解し、好きなことを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思】好きなことを相手によりよく理解してもらえるように、具体例などを付け加えて伝えている。 【態】好きなことを相手によりよく理解してもらえるように、身振り手振りなど工夫して伝えようとしている。	◎話すこと〔やり取り〕 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト 【思】パフォーマンステスト 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
5	10	Lesson 01 What Did You Do in Japan? 〔題材内容〕 ・海外からの旅行者の日本での経験を知る。 ・自分の思い出に残る経験について、考えをまとめて書く。 〔領域〕 ◎書くことのア	◎書くこと 【知】自分の思い出に残る経験について伝えるために必要となる語彙や表現、過去形の表現を理解し、それを活用して書いて伝える技能を身に付けている。 【思】自分の思い出に残る経験について、情報や考え、気持ちなどを書いて伝えている。	◎書くこと 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト

		○読むことのア 【文法】 ・過去形	【態】自分の思い出に残る経験について、情報や考え、気持ちなどを書いて伝えようとしている。 ○読むこと 【知】思い出についての文章を読み取るために必要となる過去形の表現を理解し、本文を読み取る技能を身に付けている。 【思】自分の思い出について伝えるために、経験についての文章を読んで、概要や要点を捉えている。 【態】自分の思い出について伝えるために、経験についての文章を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	【態】振り返りの記述、活動の観察 ○読むこと 【知】パフォーマンステスト、活動の観察 【思】活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
5	2	前期中間考査、振り返り		
6 7 8	10	Lesson 02 When Do you Feel Happy? Activity 01 Pronounce It! 【題材内容】 ・趣味に関する発表を聞く。 ・自分の趣味について発表する。 【領域】 ◎話すこと【発表】のア ○聞くことのア 【文法】 ・進行形 ・接続詞when	◎話すこと【発表】 【知】自分の趣味を話して伝えるために必要となる現在進行形の表現について理解し、自分の趣味を話して伝える技能を身に付けている。また、英語らしく読むために必要な知識を理解し、実際に話す技能を身に付けている。 【思】自分の趣味について相手の興味を引くように表現を工夫して伝えている。 【態】自分の趣味について相手の興味を引くように話し方を工夫して伝えようとしている。また、英語らしく読むために繰り返し練習をするなどの工夫をしている。 ○聞くこと 【知】趣味に関するやりとりを聞き取るために必要となる現在進行形の表現を理解し、本文を聞き取る技能を身に付けている。 【思】自分の趣味について発表するために、趣味に関するやり取りを聞いて、概要や要点を捉えている。 【態】自分の趣味について発表するために、趣味に関するやり取りを聞いて、概要や要点を捉えようとしている。	◎話すこと【発表】 【知】パフォーマンステスト 【思】パフォーマンステスト、活動の観察 【態】振り返りの記述・活動の観察 ○聞くこと 【知】活動の観察 【思】活動の観察 【態】パフォーマンステスト・振り返りの記述・活動の観察
9	2	前期末考査、振り返り		
9 10 11	10	Lesson 03 Onigiri Goes overseas 【題材内容】 ・海外でのおにぎりの人気について知る。 ・紹介したい日本文化について、考えをまとめて書く。 【領域】	◎書くこと 【知】日本文化について伝えるために必要となる助動詞の表現について理解し、日本文化について書いて伝える技能を身に付けている。	◎書くこと 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察

		◎書くことのア ○読むことのエ 【文法】 ・助動詞	【思】日本文化について読み手に伝わるような表現で書いて伝えている。 【態】日本文化について読み手に伝わるような表現で書いて伝えようとしている。 ○読むこと 【知】世界の文化について読み取るために必要となる助動詞の表現について理解し、読み取る技能を身に付けている。 【思】日本文化について紹介するために、世界の文化について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。 【態】日本文化について紹介するために、世界の文化について書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述・活動の観察 ○読むこと 【知】ペーパーテスト 【思】ペーパーテスト 【態】振り返りの記述・活動の観察
11	2	後期中間考査、振り返り		
12 1	10	Lesson 04 Pictograms 【題材内容】 ・ピクトグラムについて知る。 ・ピクトグラムについて読んだり聞いたりしたことをまとめて発表する。 【領域】 ◎話すこと【発表】のイ ○読むことのエ 【文法】 ・助動詞	◎話すこと【発表】 【知】ピクトグラムについて発表するために必要となる不定詞の表現について理解し、ピクトグラムについて発表する技能を身に付けている。 【思】ピクトグラムについて分かりやすく伝えるために必要な表現を使って発表している。 【態】ピクトグラムについて分かりやすく伝えるために工夫して発表しようとしている。 ○読むこと 【知】ピクトグラムについての説明文を読み取るために必要となる不定詞の表現について理解し、読み取る技能を身に付けている。 【思】ピクトグラムについて話し合うために、ピクトグラムについて書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えている。 【態】ピクトグラムについて話し合うために、ピクトグラムについて書かれた説明文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。	◎話すこと【発表】 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】振り返りの記述・活動の観察 ○読むこと 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
2	10	Lesson 05 Morita Yuko: Hospital Facility Dog Handler 【題材内容】 ・職業に関するインタビューを聞く。 ・自分が興味をもった職業について、考えをまとめて書く。 【領域】 ◎書くことのア	◎書くこと 【知】興味のある職業について書くために必要となる動名詞の表現について理解し、興味のある職業について書いて伝える技能を身に付けている。 【思】興味のある職業について読み手に伝わりやすい表現で書いています。	◎書くこと 【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察

		○聞くことのイ 〔文法〕 ・動名詞	【態】興味のある職業に就いて読み手に伝わりやすいように工夫して書こうとしている。 ○聞くこと 【知】職業に関するインタビューを聞き取るために必要な動名詞の表現について理解し、職業に関するインタビューを聞き取る技能を身に付けている。 【思】興味のある職業について書くために、職業に関するインタビューを聞いて概要や要点を捉えている。 【態】興味のある職業について書くために、職業に関するインタビューを聞いて概要や要点を捉えようとしている。	【態】振り返りの記述、活動の観察 ○聞くこと 【知】パフォーマンステスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
2	2	後期末考査、振り返り		
3	5	Activity 02 T-shirts for Our Class! 〔題材内容〕 ・クラスTシャツをクラスメートにプレゼンテーションする。 〔領域〕 ◎話すこと〔発表〕のA	◎話すこと〔発表〕 【知】クラスTシャツをクラスメートにプレゼンテーションするために必要な語彙や表現、文法事項を理解し、プレゼンテーションする技能を身に付けている。 【思】クラスTシャツをクラスメートにプレゼンテーションする際の表現を工夫している。 【態】クラスTシャツをクラスメートにプレゼンテーションする際の表現や身振り手ぶりなどを工夫しようとしている。	◎話すこと〔やり取り〕 【知】パフォーマンステスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
家庭科	家庭基礎	1	必修	2	川本 璃音・ 清水野 天斗

使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造
使用副教材	なし
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 (3)様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
学 習 の 到達目標	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力が養われている。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度が養われている。
学 習 の 留意点	(1)教科書やノート等を用意し、毎時間持参すること。 (2) 忘れ物をした際は、授業が始まる前に教科担当に報告すること。 (3)授業内の活動に意欲的に取り組み、分からないところは授業中もしくは授業終わりに質問するなどして理解を深めること。 (4)定期考査は実施しないため、ワークシートの記述や小テストに意欲的に取り組むこと。
評価規準	【知識・技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力が養われている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	オリエンテーション (I) 家族・社会との共生 生涯を見通す 人生を作る	【知】人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 【思】生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫している。 【態】自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
5	6	(I) 家族・社会との共生 子どもと共に育つ	【知】生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思】家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察している。 【態】青年期について人々と協働し、よりよい学生生活に向けて、課題と自立を考察する態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
6	6	(I) 家族・社会との共生 子どもと共に育つ	【知】乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能が身に付いている。 【思】子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察している。 【態】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察

7 8	12	(1) 家族・社会との共生 高齢化社会を共に生きる	【知1】高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能が身に付いている。 【知2】生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思1】高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察している。 【思2】家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察している。 【態】人生100年時代を理解し、人生に向き合う態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
9 10	12	(2) 生活の自立 食生活をつくる	【知】ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能が身に付いている。 【思】食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫している。 【態】食の重要性を理解し、クラスメイトと協働し、実践的な授業に対する態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
11	6	(2) 生活の自立 衣生活をつくる	【知】被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能が身に付いている。 【思】被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫している。 【態】被服の重要性を理解し、様々な人々と協働し、実践的な授業に対する態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
12	6	(2) 生活の自立 住生活をつくる	【知】ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能が身に付いている。 【思】住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫している。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察

			【態】住まいの重要性を理解し、人生設計を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。	【態】ワークシート、活動の観察
1	6	(2) 生活の自立 経済生活を営む	【知】家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 【思】生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察している。 【態】自分や家庭を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察
2 3	12	(2) 生活の自立 経済生活を営む 持続可能な生活を営む	【知1】消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性について理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できている。 【知2】生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思1】自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫している。 【思2】持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫している。 【態】よりよい意思決定に向けて、意欲的に取り組むとともに、自分や家庭の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度が養われている。	【知】ワークシート、小テスト、活動の観察 【思】記述の確認、活動の観察 【態】ワークシート、活動の観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業と環境	I	必修	4	滝澤・三木

使用教科書	農業と環境（実教出版）
使用副教材	F F J ナビゲータ
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を育てる。 （1）農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （2）農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 （3）農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 到達目標	1 農業と環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。 2 農業と環境について興味を持てるようになる。 3 農業クラブ活動について理解を深める。 4 プロジェクト学習の基礎学習から問題解決能力を高める。
学 習 の 留意点	1 教科書に書かれている結論的な知識や技術をそのまま覚えるのではなく、自分のイメージを組み立て実践すること。 2 農業生物の変化や環境の重要性を理解することで複雑な知識や概念をひとつずつ確認し、検証すること。
評価規準	【知識・技術】 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	10	ガイダンス 第1章 農業と環境を学ぶ ・農業学習とは何か ・農業と環境の学び方 ・農業学習、プロジェクト学習	【知】農業学習について理解している。 【思】農業学習について理解して説明できる 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
5	12	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 ・人間と動植物とのかかわり ・農業と食料供給	【知】日本の農業・農村と食糧自給率について理解している。 【思】日本の農業・農村と食糧自給率について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
6	12	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 ・農業・農村の役割 ・これからの社会と農業・農村	【知】地域の農業の役割について理解している。 【思】地域の農業の役割について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
7	14	第3章 栽培と飼育の基礎 ・作物の特性と栽培の仕組み ・作物をとりまく環境とその管理	【知】栽培と飼育の基礎を理解している。 【思】栽培と飼育の基礎について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
8	14	第3章 栽培と飼育の基礎 ・家畜の特性と飼育	【知】栽培と飼育の基礎について理解している。 【思】栽培と飼育の基礎について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
9	12	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・農業と環境のプロジェクトの実際 ・稲の栽培と利用 ・トウモロコシの栽培と利用	【知】栽培・飼育と環境のプロジェクトについて理解している。 【思】栽培・飼育と環境のプロジェクトして説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
10	12	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・ダイズの栽培と利用 ・スイカの栽培 ・トマトの栽培と利用	【知】ダイズ、スイカ、トマトの栽培方法について理解している。 【思】ダイズ、スイカ、トマトの栽培方法について説明できる。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿

			【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	活動観察
11	15	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・ハクサイ ・ダイコン ・ジャガイモ	【知】ハクサイ、ダイコン、ジャガイモの栽培方法について理解している。 【思】ハクサイ、ダイコン、ジャガイモの栽培方法について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】定期考査 活動観察 【思】定期考査 実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
12	15	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・花壇用草花 ・ニワトリの飼育と利用 ・ウシの飼育と利用	【知】草花、ニワトリ、ウシの栽培・飼育について理解している。 【思】草花、ニワトリ、ウシの栽培・飼育について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
1	15	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・間伐の方法と間伐材の利用 ・ガーデニングの方法と利用	【知】間伐材の利用、ガーデニング方法について理解している。 【思】間伐材の利用、ガーデニング方法について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
2	9	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・水辺の調査の方法と利用 ・地域資源の調査	【知】水辺の調査の方法、地域資源の調査について理解している。 【思】水辺の調査の方法、地域資源の調査について説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	課題研究	I	必修	I	滝澤、宮川、三木、石田

使用教科書	農業と環境（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	プロジェクト学習や専門教科の学習と関連付けて考え、考察する能力を養い、実践的・体験的な学習を行い、主体的に課題解決できる資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	1 課題解決のための学習活動を通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に活用できるより高度な知識と技術を深化・総合化し、体系的・系統的に理解し、身に付けられる。 2 現状の把握や分析などを通して農業に関する課題を自ら発見し、学習の目的や課題を意識しながら計画的に課題解決を図り、記録、評価、検証、まとめ、発表を通し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。 3 課題に取り組む学習活動を通して、自らの課題解決能力の向上を図り、主体的かつ協働的に農業の振興や社会貢献に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付ける。
評価規準	【知識・技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
	【思考・判断・表現】 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	ガイダンス ・プロジェクト学習とその流れ ・報告書の作成と発表 ・ダイズの栽培と利用	【知】プロジェクト学習とは何かを理解している。 【思】プロジェクト学習方法を説明できる。 【態】学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
5	4	栽培管理 ・試験区の設定方法 ・施肥計算 ・ダイズの播種	【知】ダイズの播種と施肥計算に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。 【思】ダイズの栽培方法を説明できる。 【態】ダイズの栽培管理について学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
6	4	栽培管理 ・調査方法 ・除草 ・記録	【知】ダイズの生育に関する基礎的な知識を身に付け、生育調査とその方法を理解している。 【思】ダイズの生育上の特徴を踏まえた栽培管理ができる。 【態】ダイズの栽培管理について学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
7	3	栽培管理 ・除草 ・小培土 ・防除 ・記録	【知】ダイズの栽培と利用に関する基礎的な知識を身に付け、その仕組みを理解している。 【思】ダイズの小培土の必要性について説明できる。 【態】ダイズの栽培管理について学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
8	2	栽培管理 ・除草 ・記録	【知】ダイズの生育に関する基礎的な知識を身に付け、生育調査とその方法を理解している。 【思】ダイズの生育上の特徴を踏まえた栽培管理ができる。 【態】ダイズの栽培管理について学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察

9	2	栽培管理 ・除草 ・記録	【知】ダイズの生育に関する基礎的な知識を身に付け、生育調査とその方法を理解している。 【思】ダイズの生育上の特徴を踏まえた栽培管理ができる。 【態】ダイズの栽培管理について学ぼうとする意欲を持ち探究しようとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
10	2	栽培管理 ・除草 ・収穫 ・記録 ・資料まとめ	【知】ダイズの収穫に関する基礎的な知識を身に付け、その仕組みを理解している。 【思】ダイズの収穫の方法について理解している。 【態】ダイズの収穫に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
11	2	発表資料作成 ・資料まとめ	【知】プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思】プロジェクト学習をグループで協力して行うことができる。 【態】プロジェクト学習に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
12	2	発表資料作成 ・発表準備	【知】プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思】プロジェクト学習をグループで協力して行うことができる。 【態】プロジェクト学習に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
1	4	発表資料作成 ・発表準備	【知】プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思】プロジェクト学習をグループで協力して行うことができる。 【態】プロジェクト学習に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察

2	4	発表資料作成 ・校内実績発表大会	【知】プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思】わかりやすいスライドとデータで発表することができる。 【態】プロジェクト学習に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察
3	2	振り返り	【知】発表した資料について検証している。 【思】取り組んだプロジェクトについて説明できる。 【態】プロジェクト学習に興味・関心を持ち、主体的に実習に取り組もうとしている。	【知】活動観察 【思】実習記録簿 【態】実習記録簿 活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	総合実習	I	必修	I	滝澤、宮川、三木、石田

使用教科書	なし
使用副教材	なし
科目の目標	農業のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、プロジェクト学習や専門教科の学習と関連付けて考え、考察する能力を養い、実践的・体験的な学習を行い、社会を支え産業の発展を担う職業人としての資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	1 課題解決のための学習活動を通して、各科目で学習した知識と技術を再確認し、自らの課題解決に活用できるより高度な知識と技術を深化・総合化し、体系的・系統的に理解し、身に付けられる。 2 現状の把握や分析などを通して農業に関する課題を自ら発見し、学習の目的や課題を意識しながら計画的に課題解決を図り、記録、評価、検証、まとめ、発表を通し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。 3 課題に取り組む学習活動を通して、自らの課題解決能力の向上を図り、主体的かつ協働的に農業の振興や社会貢献に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付ける。
評価規準	【知識・技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
	【思考・判断・表現】 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	農業クラブ入会式 クラス意見発表大会	【知】クラス意見発表の学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】クラス意見発表の学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】クラス意見発表の学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	【知】FFJファイルの内容 【思】発表の観察 【態】参加状況観察
5	4	プロジェクト計画発表会 校内意見発表大会 農業クラブ総会	【知】プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】プロジェクト学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	【知】発表原稿の内容 【思】自分の役割を理解し実践することができる。 【態】参加状況観察
6	5	校内技術競技大会	【知】校内技術競技の学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】校内技術競技の学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】校内技術競技の学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	【知】発表原稿の内容 【思】発表の観察 【態】参加状況観察
11	4	プロジェクト中間発表会	【知】プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【知】発表原稿の内容 【思】発表の観察 【態】参加状況観察

			【態】プロジェクト学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	
2	4	校内実績発表大会	【知】校内実績発表の学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】校内実績発表の学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】校内実績発表の学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。	【知】発表原稿の内容 【思】自分の役割を理解し実践することができる。 【態】参加状況観察
3	2	FFJファイル記入	【知】FFJファイルに行事の内容を詳細に記入している。 【思】課題を解決する力の向上を目指して自ら学ぼうとしている。 【態】農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	【知】FFJファイルの内容 【思】FFJファイルの内容 【態】参加状況観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業と情報	1	必修	2	宮川 拓

使用教科書	農業と情報
使用副教材	
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。 (1) 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う
学習の到達目標	1 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につける 2 情報社会の特徴と農業への先進技術の活用方法などに関心を持ち、且つ情報の活用について倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養う 3 環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ち、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解できる。
学習の留意点	1 話を聞くときはパソコン機器に触れない。 2 授業に関係の無い行動をしない。
評価規準	【知識・技術】 農業と情報に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる 【思考・判断・表現】 情報社会の特徴と農業への先進技術の活用方法などに関心を持ち、且つ情報の活用について倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養う 【主体的に学習に取り組む態度】 環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心を持ち、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解できる。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	8	○オリエンテーション ○自己紹介スライドの作成 ○私たちの生活と農業の情報化 情報社会における私たちの生活 情報とメディア 情報社会とモラル	【知】 農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。 【思】 情報の活用について倫理観を持ち科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。	【知】 小テスト 【思】 課題提出 【主】 行動観察

			【主】情報社会と私たちの関わりに関心をもち、情報社会の仕組みについて理解できる。	
5	12	○文章入力 ○社会を支えるコンピュータ コンピュータのしくみ データや情報の表現 情報通信ネットワーク インターネットのしくみ 情報セキュリティ	【知】農業に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる 【思】コンピュータに関するしるみを科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。 【主】社会を支えているコンピュータに関心をもち、その仕組みについて理解できる。	【知】課題提出 【思】行動観察 【主】行動観察
6 7	12	○農業情報処理に向けた学習 ○農業情報の分析と活用 Word、Excel	【知】農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。 【思】Word・PP扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【主】Word・PPについて主体的に活用し、取り組む姿勢を身に付けようとしている。	【知】行動観察 【思】課題提出 【主】行動観察
8	7	○情報社会とモラル	【知】農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。 【思】情報の活用について倫理観をもち科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。 【主】情報社会と私たちの関わりに関心をもち、情報社会の仕組みについて理解できる。	【知】小テスト 【思】課題提出 【主】行動観察
9	8	○コミュニケーションと情報デザイン 情報表現のためのソフトウェア 文書の作成と表現 データの集計と視覚化	【知】農業に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる 【思】情報デザインに関する基礎的な知識を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【主】情報デザインに関心をもち、その仕組みについて理解できる。	【知】行動観察 【思】課題提出 【主】行動観察
10	8	○コミュニケーションと情報デザイン データベースシステムとオープンデータ 画像・図形処理ソフトウェアの利用	【知】農業に関する情報や情報手段を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。	【知】行動観察 【思】課題提出

		プログラムの設計	【思】画像・図形処理ソフトウェア扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【主】画像・図形処理ソフトウェアついて主体的に活用し、取り組む姿勢を身に付けようとしている。	【思】行動観察
11 ～ 2	20	農業学習と情報活用 ○専門分発表会に向けたプレゼンテーション資料の作成	【知】専門分会に関する情報を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる。 【思】画像・図形処理ソフトウェア扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【主】画像・図形処理ソフトウェアついて主体的に活用し、取り組む姿勢を身に付けようとしている。	【知】行動観察 【思】課題提出 【主】行動観察
12	8	○スマート農業への展望 スマート農業の目指す将来システム開発と設計 人工知能 プログラムの設計	【知】スマート農業に関する知識を目的に合わせて効果的に使いこなすことができる 【思】スマート農業関するしくみを科学的な根拠などに基づいて創造的に解決することができる。 【主】スマート農業に関心をもち、その仕組みや役割について理解できる。	【知】小テスト 【思】課題提出 【主】行動観察
12 ～ 3	12	○日本情報処理検定に向けて	【知】情報に関する基礎的な知識・技能を身に付け、情報収集や編集、情報活用の重要性を理解している。 【思】情報を扱う基礎的な技能を基に、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【主】P検定について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、主体的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。	【知】小テスト 【思】課題提出 【主】行動観察